

一 策定資料 一

第6次総合計画後期基本計画策定の経緯

平成 22 年	10 月	22 日	策定方針庁議決定
	10 月	下旬	基礎資料データの収集
		～	
	11 月	中旬	前期基本計画の検証及び後期基本計画草案作成に着手
		～	
平成 23 年	1 月	13 日	市民アンケート調査実施
		～ 31 日	
	4 月	11 日	第 6 次総合計画後期基本計画市民会議公募メンバー募集
		～ 25 日	
	6 月	14 日	策定委員会設置
	6 月	18 日	第 1 回 市民会議
			・市民会議メンバー 16 名委嘱状交付・正副議長選任
			・後期基本計画策定趣旨及び策定体制について
			・市民会議の運営について
			・市民アンケート結果について
			・前期基本計画指標達成状況について
	7 月	9 日	第 2 回 市民会議
			・後期基本計画（草案）について
	7 月	30 日	第 3 回 市民会議
			・後期基本計画（草案）について
平成 24 年	8 月	27 日	第 4 回 市民会議
			・提言書について
	9 月	8 日	「提言書」の提出
			・市民会議議長から市長へ「提言書」の提出
	10 月	11 日	後期基本計画（素案）についてパブリックコメントを実施
		～	
	11 月	10 日	
	10 月	13 日	第 1 回 総合計画審議会
			・総合計画審議会委員 20 名委嘱状交付・正副会長選出
			・大月市第 6 次総合計画後期基本計画（素案）について（諮問）
			・審議事項・スケジュールについて 3
	11 月	4 日	第 2 回 総合計画審議会
			・後期基本計画（素案）について
	11 月	28 日	第 3 回 総合計画審議会
			・後期基本計画（素案）について
平成 24 年	1 月	12 日	第 4 回 総合計画審議会
			・後期基本計画（素案）に対する答申について
	1 月	31 日	後期基本計画（素案）答申
			・総合計画審議会会長から市長へ答申
	2 月	17 日	平成 23 年度第 11 回庁議
			・第 6 次総合計画後期基本計画の庁議決定

第6次総合計画後期基本計画(素案)について(諮問・答申)

大企 0 1 第 4 8 9 号

平成 2 3 年 1 0 月 1 3 日

大月市総合計画審議会会長 殿

大月市長 石井 由己雄

大月市第6次総合計画後期基本計画(素案)について(諮問)

平成28年を目標年次として策定した「大月市第6次総合計画」の中間年となり、前期基本計画の計画期間が終了となることから、「大月市第6次総合計画」に掲げた基本目標達成に向け、後期5年に実施すべき施策などを示す「大月市第6次総合計画後期基本計画」を策定したいので、その基本となる別添後期基本計画(素案)について、審議会のご意見を賜りたく諮問いたします。

平成 2 4 年 1 月 3 1 日

大月市長 石井 由己雄 殿

大月市総合計画審議会
会 長 村 上 哲 也

大月市第6次総合計画後期基本計画(素案)について(答申)

このことについて、平成23年10月13日付け、大企01第489号により諮問のありました、大月市第6次総合計画後期基本計画(素案)について、慎重に審議を重ねた結果、その内容は概ね妥当なものであるが、本市の行財政運営の指針となる最上位の計画である「大月市第6次総合計画」の実現に向けては、下記のとおり本審議会として付す意見を尊重するよう修正案を添えて答申します。

記

1. 後期基本計画の推進にあたっては、市民の理解と協力、積極的な参画が必要なので、広く計画内容を市民に周知するとともに「信頼と協働のまちづくり」を推進するよう要望します。
2. 後期基本計画の施策の実施にあたっては、健全な財政運営を基本に重点事業を中心とし、効率的な事業展開が図れるよう全庁的な推進体制を強化するとともに、広域的な連携も視野に入れた取り組みを進めるよう要望します。
3. 大月市がおかれている現状は、景気の低迷や少子高齢化、人口減少が続き、厳しい財政状況となっているが、今後も定期的な計画指標の検証や市民意識調査を行い、多様な住民ニーズに柔軟に対応するよう要望します。

大月市総合計画審議会条例

平成 7 年 3 月 27 日

条例第 3 号

(設置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、市長の附属機関として大月市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、市長の諮問に応じ、大月市総合計画の策定に必要な調査及び審議を行う。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 30 人以内で組織する。

2 委員は、市議会議員、学識経験者、関係行政機関の職員、市職員及び市民のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、市議会議員、関係行政機関の職員のうちから委嘱又は任命された委員は、任期中であってもその職を離れたときは、委員の職を失う。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員のうちから互選によりこれを決める。

3 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 会長は、審議会を召集し、その議長となる。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(意見等の聴取)

第 7 条 会長は、審議会の会議において必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求めその説明又は意見を聞くことができる。

(部会)

第 8 条 審議会にその所掌事務を分掌させるため、部会を置くことができる。

(庶務)

第 9 条 審議会の庶務は、企画財政課において処理する。

(委任)

第 10 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

総合計画審議会委員名簿

(敬称略・順不同)

会 長	大月短期大学学長	村上 哲也
副会長	公民館連絡協議会会長	加納 健司
	青年会議所理事長	土屋 和也
	文化協会会長	花田 規矩男
	農業委員会会長	小俣 武一
	商工会会長	平井 誉
	観光協会副会長	天野 太文
	大月商店街協同組合理事長	小俣 孝
	森林組合組合長	渡邊 泰
	男女共同参画推進委員会委員長	梶原 美千子
	社会福祉協議会会長	星野 喜忠
	老人クラブ連合会会長	岩澤 武松
	民生委員児童委員協議会会長	小林 高紀
	教育委員会委員長	鈴木 彰
	体育協会会長	小林 克宏
	後期基本計画市民会議議長	中村 暉雄
	後期基本計画市民会議副議長	山田 茂
	市議会議員	古見 金弥
	市議会議員	小泉 二三雄
	市議会議員	小原 丈司

大月市第6次総合計画後期基本計画市民会議設置要綱

(目的)

第1条 大月市第6次総合計画後期基本計画(以下「後期基本計画」という。)の策定にあたり、広く市民等の声を聞き、市民との協働によるまちづくりを推進するため、大月市総合計画後期基本計画市民会議(以下「市民会議」という。)を設置する。

(所管事務)

第2条 市民会議は、第6次総合計画の掲げる基本目標及び個別目標達成に向け、行政はどのように取り組むべきか、市民はどのような取り組みができるかなどの意見交換をし、後期基本計画策定に係る提言を取りまとめる。

(組織)

第3条 市民会議は、20名程度の委員で組織する。

2 委員は、各種団体の構成員及び公募者等のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は委嘱の日から、第2条の提言の取りまとめが終了する日までとする。

(議長及び副議長)

第5条 市民会議に議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、委員のうちから互選によりこれを決める。

3 議長は、市民会議を代表し、会務を総理する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、議長が必要に応じて招集する。

(庶務)

第7条 市民会議の庶務は、行政経営課において処理する。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

大月市第6次総合計画後期基本計画市民会議委員名簿

(敬称略・順不同)

議 長	男女共同参画推進委員会	中村 暉雄
副議長	市民代表(公募委員)	山田 茂
	公民館連絡協議会	佐々木 敬介
	文化協会	井上 成美
	社会福祉協議会	星野 忠昭
	老人クラブ連合会	幡島 カオル
	商工会	志村 章太
	観光協会	天野 太文
	体育協会	藤本 光代
	民生委員児童委員協議会	村山 喜代男
	森林組合	佐藤 壽
	大月商店街協同組合	小宮 昭夫
	大月青年会議所	中島 啓介
	大月短期大学学生	石田 和成
	大月短期大学学生	小川 優治
	市民代表(公募委員)	知見 邦彦

市民意向・ニーズ

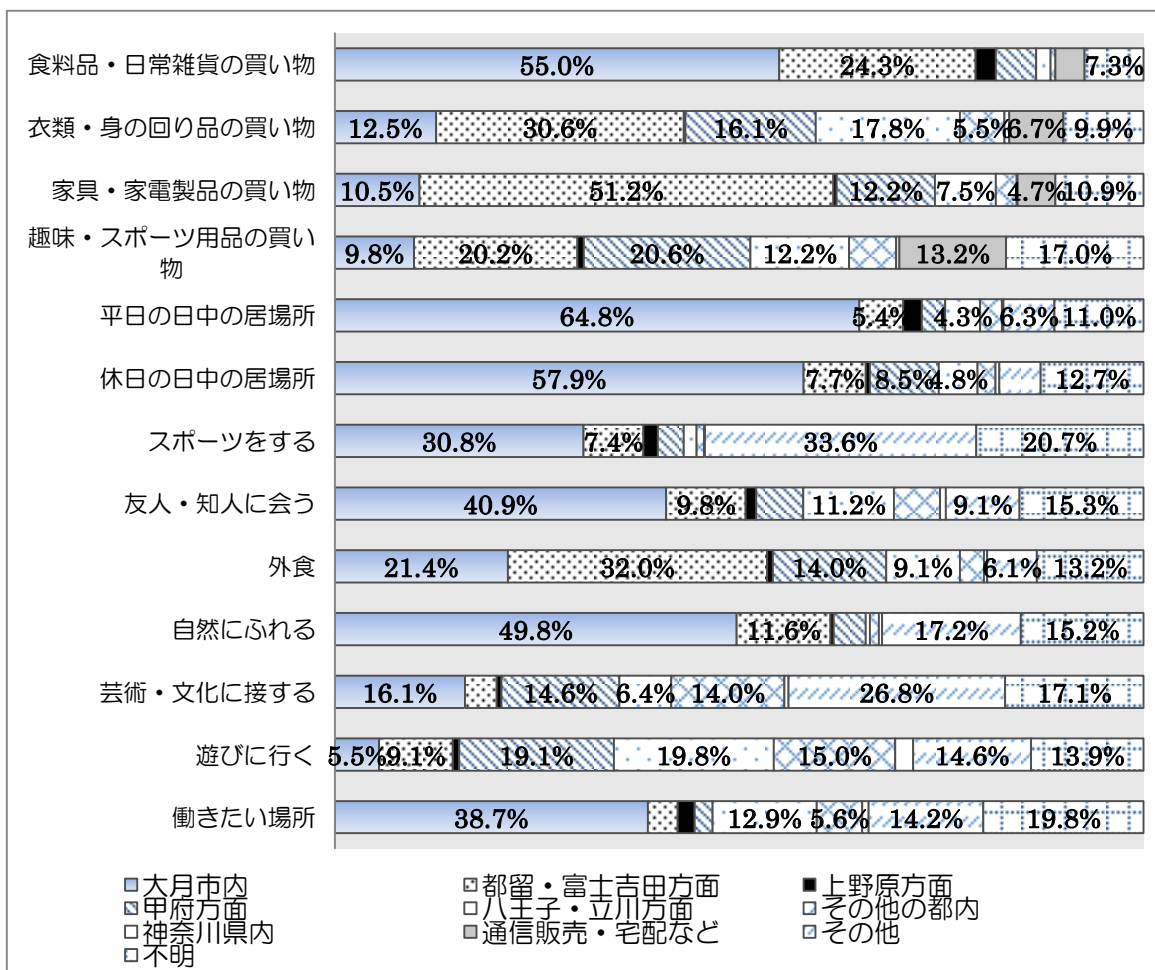
平成 23 年 1 月 13 日から 1 月 31 日に第 6 次総合計画後期基本計画策定のため、市内に居住する 20 歳以上の男女 2,000 名を対象にアンケート調査を行いました。

1 大月市民の行動する場所

市民がどこで行動しているかを尋ねました。

平成 17 年に実施したアンケートと同様、「食料品や日常雑貨」の購入や、「友人・知人に会う」、「自然にふれる」などは市内が多く、「食料品や日常雑貨」の購入は、平成 17 年と比較して+5.1 ポイント、「自然にふれる」は+8.8 ポイントとなりました。

買い物に関して、「食料品や日常雑貨」以外は、市内との回答が微減しており、「家具・家電製品の買い物」については、都留・富士吉田方面との回答が+10.7 ポイントとなっています。また、インターネット等の普及から通信販売・宅配との回答がどの項目でも増えていました。



2 大月市の生活環境

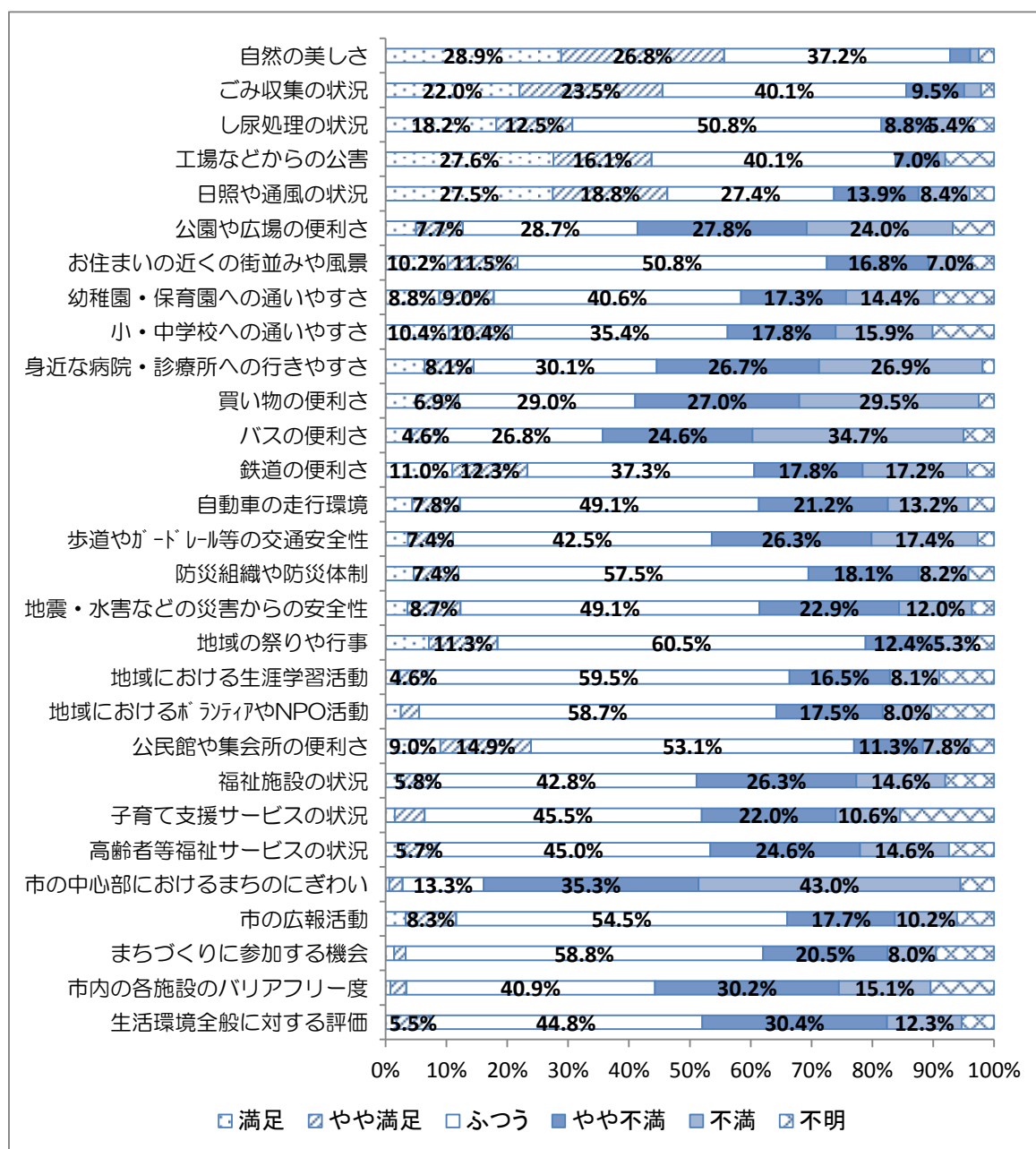
大月市の生活環境に関する満足度について尋ねました。

満足系の回答率（「満足」＋「やや満足」の合計。）が高いのは、「自然の美しさ」（55.7％）や「日照や通風の状況」（46.3％）など自然環境に関する項目で、次いで「ごみ収集の状況」（45.5％）、「工場などからの公害」（43.7％）、「し尿処理の状況」（30.7％）など衛生面が高い結果となりました。逆に、不満系の回答率（「不満」＋「やや不満」の合計。）が高いのは、「市の中心部におけるまちのにぎわい」（78.3％）、「バスの便利さ」（59.3％）、「買い物の便利さ」（56.5％）、「身近な病院・診療所への行きやすさ」（53.6％）、「公園や広場の便利さ」（51.8％）などという結果になりました。

平成17年に実施したアンケート結果と比較して、順位の上下はありますが、満足系の回答については上位3項目、不満系の回答については上位5項目が同じ項目という結果になりました。

また、平成17年に実施したアンケートと比較して満足系の回答率が上がった項目は、「自然の美しさ」（＋12.5ポイント）、「工場などからの公害」（＋11.2ポイント）、「し尿処理の状況」（＋9.7ポイント）、「ごみ収集の状況」（＋8.3ポイント）などが挙げられ、逆に不満系の回答率が上がった項目は、「日照や通風の状況」（＋5.1ポイント）、「高齢者等福祉サービスの状況」（＋4.6ポイント）、「小・中学校への通いやすさ」（＋4.5ポイント）などが挙げられます。

全体的に見ると、満足系の回答率は上がり、不満系の回答率は下がっていました。



生活環境に関する満足度の回答について、「満足」を5点、「やや満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として地区ごとに集計し、その平均点を表にまとめました。各項目の下段の数字は平成17年のアンケート結果との増減を示しています。

「自然の美しさ」や「工場などからの公害」については、すべての地区で4点と満足度が高い点数になっています。しかし、「市の中心部におけるまちのにぎわい」については全地区で2点の評価であり、次いで「公園や広場の便利さ」、「バスの便利さ」など不満度が高い項目となっています。

今回のアンケート調査の点数合計と平成17年を比較すると、梁川地区では-1ポイントとなっていますが、瀬戸地区、富浜地区では増減無し、それ以外の地区はすべてプラスとなっており、市全体で見ると+7ポイントで、全体として不満系の回答が減っていることがうかがえます。

		全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	賑岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
自然の美しさ	今回結果	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	H17比	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
ごみ収集の状況	今回結果	4	4	4	4	4	3	3	4	4	3	3
	H17比	1	0	0	1	1	-1	0	0	1	0	0
し尿処理の状況	今回結果	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3
	H17比	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
工場などからの公害	今回結果	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	H17比	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1
日照や通風の状況	今回結果	3	3	3	4	3	3	4	3	3	4	3
	H17比	-1	0	-1	0	0	-1	0	0	0	0	-1
公園や広場の便利さ	今回結果	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お住まいの近くの街並みや風景	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園・保育園への通いやすさ	今回結果	3	2	3	3	3	2	2	2	3	3	2
	H17比	0	-1	0	0	0	0	0	-1	0	0	-1
小・中学校への通いやすさ	今回結果	3	2	3	3	3	2	2	1	3	3	2
	H17比	0	0	0	0	0	-1	-1	-2	0	0	-1
身近な病院・診療所への行きやすさ	今回結果	2	2	2	3	3	2	2	2	3	2	2
	H17比	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
買い物の便利さ	今回結果	2	2	2	2	3	2	3	3	2	2	2
	H17比	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
バスの便利さ	今回結果	2	2	2	2	3	2	2	3	2	2	1
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
鉄道の便利さ	今回結果	3	3	3	2	3	3	2	2	3	3	3
	H17比	0	1	0	0	-1	0	0	0	0	0	0
自動車の走行環境	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3
	H17比	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0
歩道やガードレール等の交通安全性	今回結果	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
	H17比	1	0	1	1	0	1	0	-1	0	0	0
防災組織や防災体制	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
地震・水害などの災害からの安全性	今回結果	3	3	3	3	3	3	2	2	3	2	2
	H17比	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
地域の祭りや行事	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域における生涯学習活動	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域におけるボランティアやNPO活動	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	H17比	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
公民館や集会所の便利さ	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉施設の状況	今回結果	3	3	3	3	3	3	2	3	3	2	2
	H17比	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0
子育て支援サービスの状況	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
	H17比	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
高齢者等福祉サービスの状況	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
	H17比	0	0	0	0	0	0	1	0	0	-1	0
市の中心部におけるまちのにぎわい	今回結果	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	H17比	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
市の広報活動	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1
まちづくりに参加する機会	今回結果	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	H17比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市内の各施設のバリアフリー度	今回結果	2	3	2	3	2	2	2	3	2	2	2
	H17比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活環境全般に対する評価	今回結果	3	3	3	3	3	2	2	3	2	2	2
	H17比	1	1	0	1	1	0	0	0	0	-1	0
点 数 合 計	今回結果	82	80	83	83	85	78	76	78	81	76	69
	H17比	7	5	4	7	6	1	3	0	5	0	-1

3 大月市の住みやすさ

本市の住みやすさ、住みにくさについて尋ね、回答率が高かった上位3項目を地区別にまとめました。
本市が住みやすいと感じている項目は、生活環境の満足度で高かった「自然の豊かさ」や「工場からの公害が少ない」ことや、「犯罪などが少ない」ことが挙げられ、平成17年の調査時とほぼ同様の結果となっています。

住みにくいと感じている項目は、平成17年の調査時では、すべての地区で「医療施設が不十分で不便」が一番に挙げられていましたが、同様に「医療施設が不十分で不便」が上位であることに変わりはありませんが、大月地区や賑岡地区では「まちに活気がない」が逆転しています。また、多くの地区で「日常の買い物の便が悪い」との回答率が前回調査より上がっており、順位を上げています。

●大月市が住みやすいと感じていること

	全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	賑岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
1位	自然が豊か	犯罪などが少ない	自然が豊か	自動車交通の便が良い	鉄道交通の便が良い	自然が豊か	自然が豊か	自然が豊か	自然が豊か	自然が豊か	自然が豊か
2位	犯罪などが少ない	自然が豊か	犯罪などが少ない	自然が豊か	自動車交通の便が良い	犯罪などが少ない	犯罪などが少ない	工場からの公害が少ない	犯罪などが少ない	犯罪などが少ない	犯罪などが少ない
3位	工場からの公害が少ない	※地域とのつながりが良い ※広い住宅が持てる	※広い住宅が持てる ※自動車交通の便が良い	犯罪などが少ない	自然が豊か	鉄道交通の便が良い	工場からの公害が少ない	犯罪などが少ない	工場からの公害が少ない	工場からの公害が少ない	工場からの公害が少ない

●大月市が住みにくいと感じていること

	全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	賑岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
1位	医療施設が不十分で不便	日常の買い物の便が悪い	医療施設が不十分で不便	医療施設が不十分で不便	まちに活気がない	まちに活気がない	医療施設が不十分で不便	医療施設が不十分で不便	医療施設が不十分で不便	医療施設が不十分で不便	医療施設が不十分で不便
2位	まちに活気がない	医療施設が不十分で不便	※日常の買い物の便が悪い ※まちに活気がない	まちに活気がない	医療施設が不十分で不便	医療施設が不十分で不便	まちに活気がない	まちに活気がない	まちに活気がない	まちに活気がない	※日常の買い物の便が悪い ※まちに活気がない
3位	娯楽や就業の場が少ない	まちに活気がない	まちに活気がない	娯楽や就業の場が少ない	公園等憩いの場が少ない	娯楽や就業の場が少ない	娯楽や就業の場が少ない	細い道路が多いため移動しづらく危険	日常の買い物の便が悪い	日常の買い物の便が悪い	※日常の買い物の便が悪い ※まちに活気がない

4 将来像を考える上でのキーワード

将来像を考える上でのキーワードは、平成17年調査結果と同様に「活気」が一番に挙げられています
が、20代及び40代においては、「産業」が前回調査よりも大きく順位をあげています。

	全市	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1位	活気	活気	活気	活気	活気	活気	活気	活気	自然	福祉
2位	自然	自然	自然	にぎわい	にぎわい	※産業 ※福祉	自然	自然	※活気 ※健康	※自然 ※活気
3位	福祉	健康	福祉	快適	健康	※福祉	活力	福祉	※健康	※活気
4位	健康	活力	健康	産業	環境	快適	健康	やすらぎ	福祉	快適
5位	活力	福祉	やすらぎ	自然	※自然 ※快適	自然	福祉	環境	やすらぎ	健康

5 大月市における重要施策

まちづくり全体や、土地利用・都市基盤、産業、教育・福祉・文化などそれぞれで重点をおくべきことについて、回答率が高かった上位3項目を地区別に示しました。

それぞれの地区において、以下のような項目が上位を占めていました。

●今後のまちづくりの方向性

	全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	脈岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
1位	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり	医療・保健が充実したまちづくり
2位	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり
3位	福祉施設が整ったまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	※道路などの都市基盤の整ったまちづくり ※福祉施設が整ったまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	消費生活や市民生活情報が充実したまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり	地域産業の振興によるまちづくり	福祉施設が整ったまちづくり

●土地利用や都市基盤の整備で重点をおくこと

	全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	脈岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
1位	生活道路の整備	自然環境の保全	生活道路の整備	※ＪＲ駅前等の整備	ＪＲ駅前等の整備	生活道路の整備	がけ崩れや水害、火災等の予防	生活道路の整備	生活道路の整備	がけ崩れや水害、火災等の予防	生活道路の整備
2位	がけ崩れや水害、火災等の予防	※道の駅等道路休息施設の整備 ※ＪＲ駅前等の整備	道の駅等道路休息施設の整備	※公園・広場等の整備	生活道路の整備	ＪＲ駅前等の整備	生活道路の整備	※道の駅等道路休息施設の整備 ※災害・火災等の予防	ＪＲ駅前等の整備	生活道路の整備	道の駅等道路休息施設の整備
3位	ＪＲ駅前等の整備		公園・広場等の整備	駐車場・駐輪場の整備	※道の駅等道路休息施設の整備 ※公園・広場等の整備	がけ崩れや水害、火災等の予防	街灯の整備		がけ崩れや水害、火災等の予防	ＪＲ駅前等の整備	上水道の整備

●産業等で重点をおくこと

	全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	賑岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
1位	優良企業の誘致	優良企業の誘致	優良企業の誘致	優良企業の誘致	※優良企業の誘致	温泉等保養施設の整備	優良企業の誘致	温泉等保養施設の整備	優良企業の誘致	温泉等保養施設の整備	温泉等保養施設の整備
2位	温泉等保養施設の整備	商店街の整備 ※温泉等保養施設の整備	商店街の整備	商店街の整備	※商店街の整備	優良企業の誘致	商店街の整備	※優良企業の誘致 ※大型店の誘致	温泉等保養施設の整備	優良企業の誘致	大型店の誘致
3位	商店街の整備		大型店の誘致	温泉等保養施設の整備	温泉等保養施設の整備	商店街の整備	温泉等保養施設の整備		商店街の整備	大型店の誘致	優良企業の誘致

●教育や福祉、文化などで重点をおくこと

	全市	笹子地区	初狩地区	真木地区	大月地区	賑岡地区	七保地区	瀬戸地区	猿橋地区	富浜地区	梁川地区
1位	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化	病院の拡充・強化
2位	診療所等医療施設の強化	診療所等医療施設の強化	診療所等医療施設の強化	特別養護老人ホームの整備	診療所等医療施設の強化	診療所等医療施設の強化	特別養護老人ホームの整備	※診療所等医療施設の強化	診療所等医療施設の強化	診療所等医療施設の強化	特別養護老人ホームの整備
3位	特別養護老人ホームの整備	地域包括支援センターの強化	特別養護老人ホームの整備	診療所等医療施設の強化	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホームの整備	診療所等医療施設の強化	※特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホームの整備	診療所等医療施設の強化